



箱崎新聞

発行者：
箱崎環境対策協議会
箱崎新聞編集部
中央区日本橋箱崎町34-8
Tel 03-3667-5667
協賛：
日本橋法人会箱崎支部

各種行事の中止・延期で淋しい秋を迎えましたが、
手作りイベントは中止しましたが、お変わりありませんか？ 今回は縮小版でお届けします。
鯉のぼりは箱崎公園に飾りました

令和二年高尾稲荷社例大祭 御神体御開帳・仮殿遷座祭

高尾稲荷の例大祭は毎年5月の第二土曜日に設定されておりますが、隣接地の再開発計画があるため今年は開催時期を延ばして9月5日（日）に開催いたしました。また、新型コロナウイルスの感染拡大防止に配慮し、催しものやフリーマーケットの出店は取り止め、招待者は近隣町会だけに絞るなど内容を縮小致しました。

12時より大祭大祓式が厳かに行われ、富岡八幡宮の丸山宮司からお清めを受けました。再開発に伴い、高尾稲荷は近隣地に仮の御社殿を設営し遷宮致します。今回は現在地での最後の例大祭となりますので、11年振りの御神体御開帳を執り行いました（前は平成21年5月7日）。

例大祭終了後に引き続き、簡素ですが小綺麗に創建された仮殿で遷座祭（仮殿での御祓い）を行いました。

今回は御開帳もあることで外部からの関心も高く、中央区や江東区の観光ボランティア、近隣地域の方からの問い合わせや参加者も多く見られました。

当日は朝9時から例大祭及び仮殿遷座祭、そして高尾稲荷倉庫の引っ越しに向けて、町会員の方々が総出でお手伝いを頂き、無事終了させることができました。役員、青年部、婦人部の皆様お疲れさまでした。また例大祭に近隣町会からも御参加を頂きありがとうございました。

修理のため一時撤去していた湊橋橋詰の高尾稲荷案内版ですが、装いも新たに再設置されました。併せてご覧いただければと思います。

再開発工事は11月から始まり、8階建ての新しいビルが2022年3月に完成予定です。高尾稲荷はビルの1~2階部分に入る予定です。

江戸時代初期の貴重な史跡として高尾稲荷を多くの皆様に知って頂くと共に、訪れる参拝の方が増えることを願い、また箱崎地区の親睦を深めるため大切にお護りしていきたいと思っております。皆さまのご理解、ご協力をお願い致します。

箱崎北新堀町会 副会長 中謙太郎



大祭大祓式



箱崎北新堀町会の皆さん



箱四町会 新町会長挨拶

今回、箱四町会の会長を拝命しました、村松眞之と申します。私の祖父がこの地で創業をした会社は、今年でちょうど100年となります。家としては、箱崎に縁が深いのですが、私自身は箱崎に仲の良い人はおらず、町会にかかわりを持ったのは50歳近くになってからのことでした。

きっかけは月に一度の廃品回収にちょっと顔を出したことでした。最初は、「地元には少しは貢献するか」位の軽い気持ちで顔を出しただけでしたが、故山岸会長からの依頼もあり、断り切れずに町会の役員を引き受けました。初めの役柄は青少年部部長、その後、祭典実行委員長、総務部長、副会長など、困惑しながら引き受けてきました。そして今回、とうとう町会長の大役を引き受けることになってしまいました。

振り返ってみますと、戸惑いながらも続けて来られたのは、皆様との人と人の絆（つながり）があったからだと思います。町会には、個性豊かないろいろな方がいらっしゃいますが、皆さんそれぞれに素晴らしい長所を持たれています。多くの行事や活動を通じて生まれた絆は、私にとっていつの間にか簡単に裏切ることができないものになっていました。

今までの役柄同様に、やむをえず引き受けた町会長ではありますが、やるからには力を尽くしたいと思います。わが町箱崎に誇りを持てる。町会の行事や活動にかかわることで、心豊かな気持ちになる。地域の絆の核となる。そういう良い組織にしたいと思っております。今回、山中、生田目、小笠原、大木の4副会長に加えて、皆川慎介、眞野勇志両名に副会長を、三木照子さんに婦人部長を引き受けていただき、新体制でスタートいたしました。役員一同、心新たに参ります。新型コロナウイルスの影響で今のところ、ほぼすべての活動を中止していますが、この問題もいつか解決する時が来るでしょう。その折には、ご参加、ご協力の程、どうぞよろしくお願い致します。

箱崎町箱四町会 町会長 村松眞之



仮殿にて遷座祭



村松新町会長と
箱四町会副会長の方々



箱崎二・三町会、役員改選

箱崎二・三町会では副会長の西澤光男さんが退任し、新たに石井利一さんが副会長になりました。

また、日本橋三の部地区委員は竹門榮一さんが退任し、箱崎睦会の若手・鈴木和重さんが委員になってくれました。日本橋消防団では30歳の西浦佑亮君が入団し、頑張ってもらっています。

今年は新型コロナウイルスの影響で、町会活動が思うように行えずに困っております。こんな状況ですが、若い力が頑張っておりますので、よろしくご指導下さい。

よろしくお祈りします。

箱崎二・三町会 町会長 加藤恵一



箱崎二・三町会役員の方々と消防団の西浦佑亮さん（右から2番目）

第三分団長になって

4月1日付けで日本橋消防団第三分団の分団長の辞令を受けました。

日本橋消防団第三分団に入団したのは24歳の時で、時の団長は岩山さん、三分団長は箱崎の沢辺さんでした。当初は右も左も分からない中、只々先輩団員の後を付いて行くことしか出来ませんでした。初めての現場は蛸殻町一丁目の火災でした。住民の方からはポンプの要請があったり、屋根から水を掛けろとか野次馬を何とかしろとか、新人だろうがベテランだろうが住民の方からすれば同じ消防団員だと見られるわけで、しっかり働ける様にならなくてはいけないのだと思い知りました。

時は流れ分団長も宮坂さん、鷺田さん、駒木根さん、鈴木さんと変わり鈴木さんの後任となりました。その間毎年避難訓練、防災訓練などを通して住民の皆様と関わりはありましたが、消防団の認知度は一部の方々を除くと今ひとつ足りないように思います。今後も訓練や講習を重ね応急救護の資格も更新し、一般の住民の方々に知って頂き、三分団地域の防火防災、そして安全を守るためのお役に立てるように三分団をまとめて行く所存です。どうぞ宜しくお願いいたします。

日本橋消防団第三分団長 小笠原宣夫

～区議便り～

中央区における新型コロナウイルス感染症対策

○区内の新型コロナウイルス感染状況について（9月9日時点）

東京都が公表した中央区内の感染者数は413人です。

（この内、371人の方は既に退院等をされています。）

○PCR検査センターについて（9月9日時点）

中央区では令和2年5月から中央区医師会及び日本橋医師会の協力を得て、「PCR検査センター」を設置しています。8月からは感染状況を踏まえ、検査件数を70件／日に拡充しました。これまで1,762件の検査で191件の方が陽性（陽性率10.84%）でした。

○中央区等の主な支援策について

区の出組の一部を紹介させていただきます。

・相談窓口

中央区保健所コールセンター（平日9時から17時）／03-3541-5254

・新型コロナウイルス感染症対策緊急融資（申込受付9月30日まで）

中央区商工観光課／03-3546-5330

○中央区議会の取組について

これまで中央区議会では国に対して意見書（要望）を提出してきました。

第一回定例会ではPCR検査体制の拡充、ワクチン・治療薬等の早期開発、中小企業の事業継続・従業員の収入への対応、学校教育への支援拡充など9項目、第一回臨時会では金融支援の強化、学生への経済支援、ICT環境整備、中長期的な予防・拡大防止対策など8項目を要望しました。今後も、国や東京都に対しても区民の皆様が必要な対策を求めてまいります。

○コロナ禍での思い

新型コロナウイルス感染症で多くのご不安、ご苦勞をお感じのことと存じます。これまで「補助金の充実・改善」、「ご商売の資金繰り」、「学校でのICTの活用」、「乳幼児検診への対応」をはじめとする様々なご意見を行政に伝えてきました。改善されたものもあれば叶っていないものもあります。いずれにしても、これからの新しい社会について考える必要があると思います。

コロナ禍を経て、変化は加速すると感じています。これまでの地域の伝統を大切にしながら、新しい発想力・先見性も持って活動してまいります。区政に関するどんなことでも構いません。ご意見をお聞かせ頂けると幸いです。

中央区議会議員 かみや俊宏

箱崎から誕生 現役高校生のプロボクサー

2020年1月24日、東日本大震災復興チャリティー Dynamic Young Fight Boxing フライ級4ラウンド デビュー戦が後楽園ホールで開催されました。

永里翔選手は、昨年2019年12月にプロテストに合格したばかりの現役の高校生（17歳）です。両親の海外転勤の為、アメリカのヴァージニア州で生まれ育ち、2013年9月に日本橋箱崎町の祖父母の家に移り住みました。日本語が話せない彼にとっては異国の地も同様で、新しい生活での苦勞を全てボクシングの練習に没頭させていました。

対戦相手の人見選手は35歳、共にデビュー戦でした。1ラウンド開始早々、人見選手は猛烈な連打をしかけ、永里選手はガードで防ぎます。しかし、一向に連打は止まらず、鼻血を出して劣勢に追い込まれました。

強烈なパンチを繰り出す永里翔選手
撮影協力 岸本ちかこ様

相手選手の勢いを止められずにポイントを奪われてしまいましたが、永里選手も攻撃に転じてパンチの的確さでポイントを取り返しました。緊張のためか本来のファイトは出来ませんでした。冷静に相手の動きをしっかりと見据え、チャンスを逃さずに判断力と俊敏性で見事なデビュー戦のKO勝ちでした。

日本橋箱崎町から誕生した若きプロボクサーの今後の活躍を期待しています。

箱崎新聞編集部

